

# 新春



松川北小学校の皆さんが育てているウサギです

館報 まつかわ

平成23年 元旦  
松川町公民館報 第567号

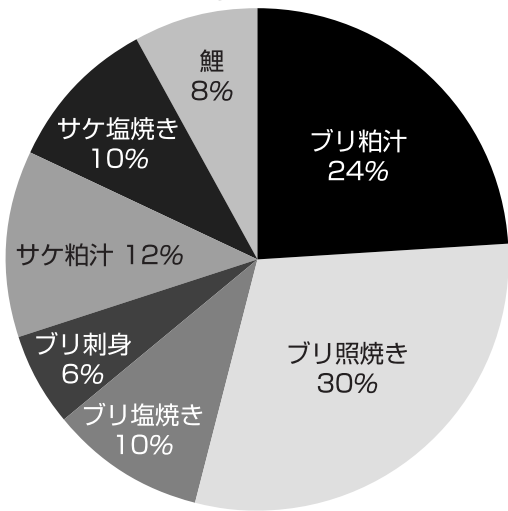
### 秘密の チヨ-ミンSHOW

# まつかわの 美味しいお正月

遅ればせながら、新年明けましておめでとございます。編集部では、年末年始の食卓についてアンケートを行いました。（公民館関係者、図書館来館者の皆さん、ご協力頂きありがとうございます。）  
町内在住41世帯、また町外、県外からもご回答を頂きました。



## 大晦日の魚

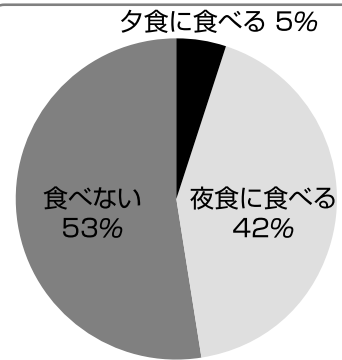


◎「東日本の鮭」「西日本の鰯」松川町に年取り魚の東西境界線がある？

- ・年取り魚は鰯の家庭が多いです。粕汁派と照焼き派が同数に近いのも注目。
- ・鮭派も健闘。粕汁派と塩焼き派が半々。
- ・地元で調達できる鯉もお祝いの魚として好まれています。



元旦の食卓（町内）



## 年越しそば

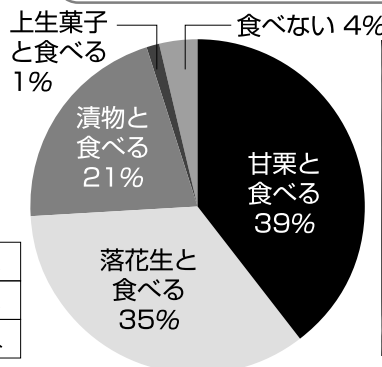
年越しそばはもともと松川にはなく新しく導入された風習だそうです。

- ・やはり松川では食べない派が多いようです。
- ・夕食としては食べないが「夜食で食べる派」が増えているのが意外でした。

元旦の朝。お茶と供される市田柿・甘栗・落花生など長寿を祈る「歯固め」の定番食品。漬物も欠かせません。

- ・お茶はお父さんが入れてくれるご家庭も結構あるようです。
- ・上生菓子を食べる家庭があるが菓子には地域性があるのでしょうか。
- ・長崎県では元旦に食べる、みかん・干し柿・アタリメ・昆布の盛り合わせを「なまくさけ」と呼ぶそうです。

## 元旦の歯固め



市田柿の種を数えますか？

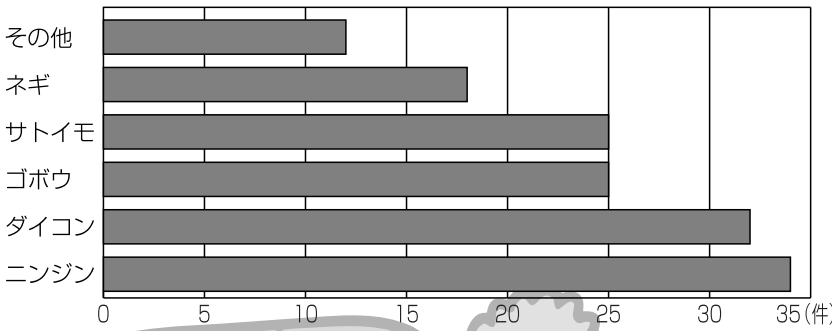
数えない	17人
数える	15人
神棚へ	1人



長崎の「なまくさけ」







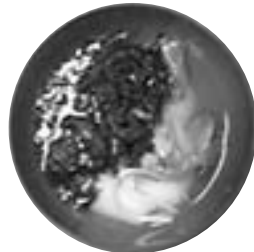
# 野菜の具

ユスなども入れられています。

・島根県では、お雑煮の具を入れない地域があることが今回の調査でわかりました。

・野菜は、ニンジン、ダイコン、ゴボウ、サトイモといった地元で採れる野菜が多いようです。

・ジャガイモ・カボチャ・キノコ類(シイタケ・エノキ・シメジ)・青菜(ホウレンソウ・フユナ・ミツバ)・香味として

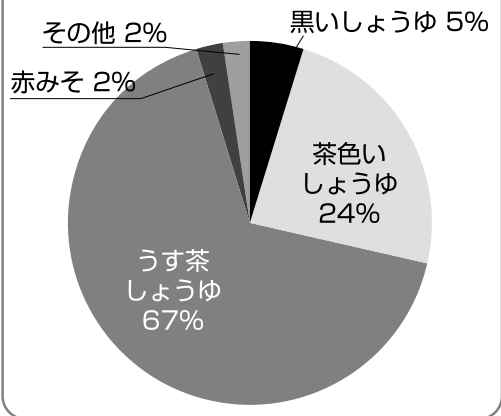


島根県のお雑煮  
普段は海苔とお餅だけでほとんど具を入れないらしい

# 汁

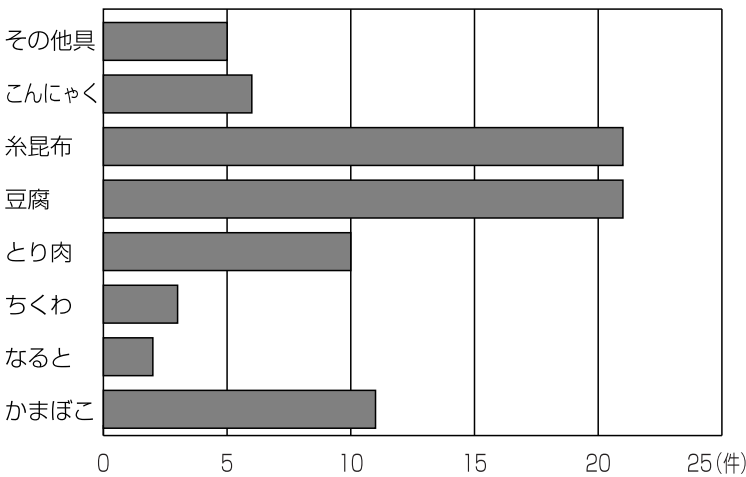
・汁はしょうゆのうす茶色がダントツ多い。透明な汁がない。みそ派は一票。…やっぱり松川はしょうゆ文化？

・出しは煮干でとります。



# その他の具

- ・松川のお雑煮に豆腐と糸昆布は欠かせません。
- ・とり肉も好まれています。
- ・ハマグリ、ナルトを乗せる家も。凍み豆腐、海草、煮干を入れる家もあります。



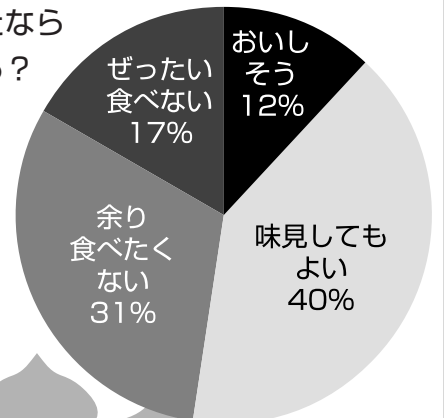
# お雑煮



はまぐりやきぬさやをそえて…

うどん、せんべい、おでんなど、和食メニューにも進出している「カレー」。

あなたならどうする？



# もしも…お雑煮がカレー味だったら

## まとめ

長崎県の「なまくさけ」や島根県のお雑煮の具の例のように、地域によって正月文化の違いがあることが今回の調査からわかりました。今後さらに他都道府県との比較をすすめることができれば、松川町のお正月文化も見えてくるかもしれません。

また、年越し蕎麦など新しい食習慣が取り入れられているご家庭も多く見受けられ、時代による変化というものもあるように思います。今日の松川町のお正月文化の記録としてこの特集がお役にたてれば幸いです。

# 喜怒哀楽人

## 太鼓一芸楽人は10周年を迎えました

### 川又光明

太鼓一芸楽人は、今年で結成から10年を迎えました。

初夏の台城つつじ祭り、夏のあらい祇園祭りなど、町内の祭りでもおなじみの粋で力強い太鼓の響き。

今回は代表の川又光明さんに、これまで10年間の活動とこれからについて語っていただきました。

## 西暦2000年・夏 楽人起動

2000年の夏、知り合いに声をかけて、何とか立上げたグループに太鼓一芸、楽人と名付け活動を始めました。消防・公民館にお世話になったり、〇〇があったり10年太鼓



から離れていました。当時、各町村に1団体以上の太鼓グループが活動しつつあり、羨ましい気持ちもありましたし、体力的にもここらが限界じゃないかという思いもあったからです。今でこそ、演目は10曲ちよいになりましたが、細々と試行錯誤で続けてゆくのも、錯乱気味で限度があり、指導を仰ぐ事にしました。

## 良き師匠方に 恵まれて…

恵まれて…

それが、お付き合いの続いている伊那のまつり工房、そして田楽座です。今に至っても、広い飯田下伊那で2つの師匠を持つグループは楽人くらいで、工房代表北原氏曰く「調子いいよな楽人は」と、苦笑いされています。太鼓は有り難くも町所有の物をお借りしつつ、個人でも整えながらやってこれました。出来るだけ金銭的負担をかけたくないわけですが、どんなグループでも、演目1つ増やすにも、タダでは覚えられません。そ

の1曲1曲、メンバーのやる気のお陰で、指導を受け、時に講座へ通い増やしてくる事が出来ました。



## 10年の歩み 演奏会のゆくえ

太鼓ばかりでなく、踊りの演目が出来たのもそのお陰です。亀の歩みでやって来た10年。その年を迎えるに演奏会のアイデアが出ました。少女太鼓クラブとの関わりも生まれまし、何とかやってみようと覚悟を決め、事を進める事にしました。が、10

年もやってくると、この歳ですし、いろんな不調が出てくるのでした。幾つかの山を乗り越え、秋まで試行錯誤しましたがやむなく中止の決断に至りました。多くの皆さんに協力頂きながら、御迷惑をお掛けする事になり、本当に申し訳なく思っています。

## 太鼓バカよ！ 永遠に…

永遠に…

そんな中で依頼されたこの原稿でしたが、書かせてもらった事で前向きになれなかった自分の気持ちを、11年目の再スタートの1年として踏み切る気持ちにさせてもらえました。大変感謝しております。

これからの活動がどんなものになるのかは全く分かりませんが、太鼓バカでいられる限りはメンバーと共に叩いてゆきたいと思います。(メンバーの足手まといになるまで)どうか宜しくお願い致します。

## いっしょに やらまいか？

ここからはメンバー募集欄です。今、実働員は大人4名、高一2名です。太鼓に興味のある方、楽しく体を動かしたい方、今がチャンスです。夏のイベン

トに向けて、0から一緒に始められます。毎週火曜、町体トレーニングルームをお借りして練習しています。気軽に顔を出してみてください。



今宵も町民体育館には、郷愁をさそう和太鼓のリズムが響き渡っています。

仕事や子育て、地域の活動など精力的にこなしつつ、音楽活動も続けるのは大変なことだと思えます。けれどメンバーの皆さんはとても熱心に楽しんで練習を続けられている様子です。

祭りのハレ舞台で見られる華やかな活動は、こうした地道な練習によって築かれているのです。

## 問題 考える みんなで 権考 仲良 人をく

先日、松川中学校3年生の  
人権学習の授業で、「友だちの  
持っている受験に対する不  
安や悩みに対して、アドバイ  
スの言葉を考えて贈ってあ  
げよう」という主旨の授業を  
行いました。生徒たちは周り  
の友だちと相談しながら真  
剣にアドバイスの言葉を考  
えようと頑張っていました。  
悩んでいる友だちの姿に、同  
じような不安を抱えている  
自分自身を重ねて考えてい  
たのかもしれない。授業後  
の生徒の感想を紹介します。

みんなのアドバイスを聞いて、自分のペースで焦らず努力していきたいと思いました。「自分ならできるー」って思っ  
てやればできると思う。今も  
そうだと思うけどクラス内  
お互いを下げてしまうような  
ことは言わないようにしたい。  
「全然やってないよ」とか「ま  
だ（やんなくて）大丈夫」  
とか。それよりも「一緒にがんばろう」っていう雰囲気

お互いを高めあっていたい。  
そうすれば春には36人全員で  
笑えると思う。そういうクラ  
スにしていきたいです。そう  
考えるとやっぱり「受験は団  
体戦」っていうけど、その通  
りだと思えます。

今は辛いけど受験勉強に向  
かい合い、分かんないところ  
があつたら人に聞いて受験勉  
強に耐える。受験当日に逃げ  
たくなつたらみんな同じ気持  
ちで受験に臨んでいることを  
考えてみる。最後は個人戦だ  
けど4組みんなが同じ気持ち  
で臨んでいるのだから怖くな  
い。…うまく言えませんが不  
安になつたら今まで支えてく  
れたみんなのことを考えてみ  
る。いつも自分の心に今まで  
高めあつた仲間がいるって思っ  
て挑むことが団体戦というこ  
となんじゃないでしょうか？  
36人で桜に負けない笑顔がで  
きるように！

今日は3時間目研究授業で  
した。ウチらのクラスが!!そ  
れで「3年●組進路相談会②」  
をやりました。最初は自分で  
考えて、その後班の中で発表  
し、「深イイ!!」言葉をみん

なに発表しました。どの班の  
言葉も「勉強がんばらなく  
ちゃー」って思える内容ばか  
りでした。ウチも①の悩みと  
同じコト思ってたので、みん  
なの言葉聴いて「不安なの  
はみんなも同じだから自分の  
ペースで頑張らなくちゃ」と  
思いました。この授業やつて  
ほんと自分のためにもなつた  
し、このクラスがもつと好き  
になりました♡！また、こう  
いうふうなクラスのみんなに  
悩みを打ち明ける時間がある  
と嬉しいデス。そーいえば廊  
下で教頭先生と会つた時「4  
組いーなー」って言つてく  
れました。それは前から知つ  
てたケド嬉しかったデス(笑)

みんないいことばかり書い  
てあつてすごいなあって思っ  
たし、自分が相談する側だつ  
たら、こんな言葉をもらった  
らすごく嬉しかったらうなっ  
て思いました。こうやつて他  
の人のことを真剣に考えられ  
るみんながいるからクラスが  
成り立っているんだと思うし、  
これからもクラス全員、一人  
一人が他人を思いやれる優し  
いクラスでありたいと思ひ  
ます。

## 松川町の文化財

(376) 埋蔵文化財(271)

文化財シリーズ

### 北の城(4) 北の城の前身は大島氏の館か

教育委員会 酒井幸則

北の城が在地領主大島氏によつて構築されたことはほぼ誤りありません。その時期について確かなことはわかりませんが、出土している陶磁器の年代からすれば、室町時代の古い段階には既に城の一部があつたことが窺えます。

江戸時代になって大島氏の事跡を記した『大島嫡流家伝記』という書物がありますが、これには随所に「大島の館」という字句が出てきます。つまり大島氏の日常の住まいのことです。同家の名子氏の館跡というものはほぼ確定されていますが、大島氏の館跡については現在、全く不明なのです。中世前半期の大島郷内、即ち今の新井・古町地区内に「大島氏の館跡」を想定させる地はありませんでした。

最近の調査で、「北の城の前身は大島氏の館跡ではないか」という見方が強くなってきました。まず発見されている陶磁器は鎌倉時代から室町時代のもので、大島氏がこの地に土着した頃からのものであること、この地が古い段

階の大島郷の真ん中辺りであること、この地の他に大島氏の居住の痕跡を示す地がないこと、北の城の付近から中世の集落跡が発見されたこと等々、いろんな角度から北の城の前身が大島氏の館、即ち「大島館」であつた可能性が強くなつたのです。当初は堀や土居で囲つた簡単な構造の館であつたものと見られますが、南北朝の動乱等、時勢に即応して防御性の高い「城」へと変化してきたものと考えられます。

この地方で戦闘や防禦面を重視した規模の大きな城が造られるのは室町時代の初期、一般に南北朝時代とよばれる段階以降と考えられます。

伊那源氏の正統片切氏より分かれた一族がこの地を領したとき、最初に館を築いたのが北の城の地で、ここを本拠として大島郷の経営にあたり、在地武将として成長していったものと見られます。こうした古い段階、大島城(台城)はまだ造られていませんでした。



# 冬こそスポーツ!!

## 松川町男女別ダブルス バドミントン大会

松川町男女別ダブルスバドミントン大会が平成22年12月12日、町民体育館で開催されました。

結果は次の通り。

### 男子の部

#### 〈Aブロック〉

優勝

林元彦・下島大明

(フットワーク)

準優勝

松上勇・北林翔太

(福与B・C)

第3位

窪田和也・桐生弘輝

(福与B・C)

#### 〈Bブロック〉

優勝

松下東宜・沢田知樹

(名子B・C)

準優勝

中島和人・林宗広

(ジョイフルB・C)

第3位

横田和芳・片桐陽一

(上片桐B・C)

### 女子の部

#### 〈Aブロック〉

優勝

丸山さなえ・林加菜子

(ジョイフルB・C)

準優勝

松下佳世・松下睦規

(松川町ジュニアB・C)

第3位

坂本紅音・宮崎真理子

(福与B・C)

#### 〈Bブロック〉

優勝

福島めぐみ・竹内支え

(福与B・C)

準優勝

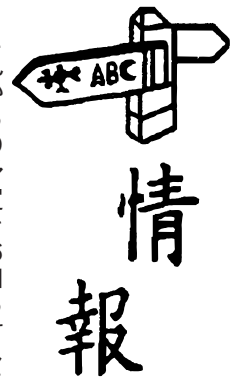
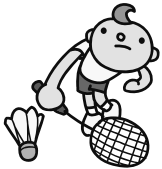
中島悦子・唐沢政子

(ジョイフルB・C)

第3位

小原暁・下沢智子

(福与B・C)



これからの予定をお知らせします。なお、お問い合わせはすべて中央公民館(電話36-2622)までお願いします。

## ひと男と女いきいきフォーラム スポーツフェスティバル

さだまさし「関白宣言」を分析しよう

期日：2月12日(土)

講師：ジャーナリスト

内山 二郎 氏

場所：町民体育館

トレーニングルーム

時間：午後1時00分～

期日：1月28日(金)

内容：ワンバウンド

ふらば～るバレー

他、軽スポーツ

場所：町民体育館

アリーナ

時間：午後7時00分～

### お知らせ 畳の表替えをしました

12月15、16日に中央公民館中会議室の畳の表替えをしました。これからもみんなで大事に使いましょう!!



## 第4回 まつかわ大学

「可能性は無限大!出会いは奇跡」

期日：2月26日(土)

講師：私立豊川高校教師

宮本 延春氏

場所：町民体育館

トレーニングルーム

時間：午後1時30分～



# スポーツ普及に尽力

公民館功労者表彰受賞

## 大島 賢 悟さん

馬坂で農業を営む大島賢悟さんは、公民館本館の体育部に15年間（平成6年4月～平成22年3月）所属し活躍されてきました。体育部では、ト



ランポリン教室やファミリースタ、ソフトバレーボール教室、ニュースポーツなどの普及に取り組んできました。今でこそ多くのチームが競技しているソフトバレーボールも、大島さんが体育部で活動しはじめのころは競技人口も少なく、今ほどの普及を見せたことに對し喜びの表情を見せます。また、退任するまでの残り5年間ほどは、キンボール

やバタンク、ワンバウンドふらばくるバレーなどの「ニュースポーツ」の普及に力を入れてきました。これらも少しずつ広がりを見せています。駅伝大会の第20回大会では、マラソンランナーの浅利純子さんを招待しましたが、この時はちようど大島さんが体育部部長を務めており最も思い出深い出来事だそうです。数年前に「ようやく100を切った」というゴルフ。今は忙しく時間がないようですが、これから時間があれば再びやりたいとおっしゃっていました。

上片桐の御射山神社には樹齡200年以上のシダレザクラがあり、毎年美しい花を咲かせてきました。幹回りは約3・4メートル。高さ7メートルの堂々とした大木です。しかし幹には空洞があり、その部分から折れてしまうのではないかと心配されていました。崇敬者総代長の宮沢惇さんの提案により、12月17日から、念願の治療が始まりました。木の

## すぽっと

### 春よ来い！

#### 御射山神社

#### シダレザクラ

栄養補給のための腐葉土を根本にいれたり、覆い被さっていた杉の枝を取り除いたり。患部の幹の空洞には炭を混ぜたミズゴケを詰めて麻布を巻きました。



## こぼれ詩

私の家族の四人兄弟

東小3年 遠藤久流美

私の兄弟は

ケンカをいっぱいする

ケンカするほど仲が

いいというけれど

私の兄弟は

ケンカをたくさんしても

仲はよくならない

おやつの時間になると

兄弟たちの目がするどくなる

お母さんに

「おてっだいでして。」といわれ

ても聞こえないふり

なのにおやつという3文字だけはよく聞こえるらしくすぐにとんでいく

でもそれがいい

私の兄弟らしくて

### 仲よし家族

東小3年 橋場瑤子

うちの家族は

ときどき

ケンカもするけど

とつても仲よし

それは

なんでかな

心がつながって

いるからかな

口には出さないけど

わたしはいつも

心の中で言ってるよ

いつまでも

仲よく

すごせるといいね

仲よし家族

## 俳句

初笑い

北原泊瀬（宮坂）

しろがねの塩見岳艶めく寒夕焼

風なりに氷柱太りて軒に生く

兎に読みし冬の星座をたしかむる

なまはげの躰こまき転ぶ初笑い

去年今年まめなからたをいただけり

## 短歌

遠足日和

下平曜子（宮坂）

消防団に新入りしたる青年が  
音を抑えて喇叭を習う

コリウスは画家の領分与えられ  
己が葉上を虹いろに塗る

遅秋が残夏の火照り冷ましつつ  
暫らくいるよと遠足日和

玄関に一宿したる馬追いの  
開けし途端に舞い出でゆけり

木犀もくせいの未だ咲かぬを問いきたる  
少女は匂いを欲しいと言えり



まちの石仏 ③

視 点

「青面金剛童子像」 法蓮寺跡

向かって左側の庚申塔は、本尊「青面金剛童子」の文字が刻まれている松川町では珍しい。



声

直接指導に感激!

高橋みゆきバレー教室に参加して

宮沢 奈々花 (郷原)

私は、小学2年生からバレーボールをやっています。

今年の夏ごろから、よく、こしや足首をよくいため練習に参加できなかったり、試合に出れなかったりすることがあり、どうしたらいいのかなあと思っていました。

そして、あのTVにも出ている元バレー選手の高橋みゆきさんに質問ができるかもということ、どうケガを予防すればいいの

か聞いてみました。すると、なんと高橋みゆきさんはケガをしないということ、とてもびっくりしました。そして、「あなた、体かたい?」と聞かれました。「とてもかたいです。」と答えると、「それです。」と言、片足ずつで立って、足首をきたえるというやり方を教えてもらい、「あとでやるつか。」と言ってくれました。

そして、バレーボール教室の時、

「体のかたい子!!」と言って私の所へ来て、せなかをおしてくれたりがんばれとはげましてくれました。オーバークラスやレシーブをみてくれたり、アタックを打ってくれたりしました。声が出てない

手作りが一番!正月飾り教室

編集部 二島 真理子

12月11日(土)午後1時より、正月飾り教室が開催されました。小学生からご年配の方まで幅広い世代の参加者を取り組みました。

最初は「おやす」の作り方を習いました。「おやす」は飯田下伊那

地方特有の正月飾り。神様に捧げる食器がその形の起源とも言われています。次は縄縋いです。今回は正月飾りなので左縋いで縋います。注連縄が縋えたところで、上達した人は注連縄から3個か5個垂れ下がる「べの子」を作っていました。

今までご家庭ではお祖父さんが作っていたけど「そろそろ俺も作ろう」と思い立つて参加されたお父さん。最初はワラと格闘のご様子でしたが



と、「声が出てないやり直し!!」と言ったり、大きな声を出すと、「すごいね!!」ととてもいい笑顔でほめてくれたりしました。とてもいい体験ができて、うれしかったです。

終盤には縄縋う姿がとてもカッコよくなっていました。

初めてのおやす作りに、最初は戸惑っていた小学生。大人に聞きながら1つ作るうちにコツを覚え、あつという間に2組作り終えていました。

おやす本体を作り終えたら細く縋った縄の輪と松の小枝と幣束(へいそく)をつけて完成です。

年一回しか作る機会がない正月飾り、どうやって作った?と悩んでいた方も忘れていたことを教えてもらって出来ました。ありがとうございます。と出来上がった正月飾りを大切に包んで持ち帰っていきました。

近年は外国産の正月飾りが手頃な価格で売られるようになりました。けれど地元産のわらが手に入るなら、時間がかかっても多少不恰好でも、手作りの正月飾りで新しい年を迎えたいな、と思うのです。

草

松川町公民館の編集部にお世話になり、4年間が過ぎようとしています。

編集部員は毎号の『ペンペン草』を担当していますが、テーマは無く、自分の言いたい事が自由に書けるコーナーです。私も鼻濁音、犬、変な言葉使いについて書かせていただきました。

そして何と言っても、公民館報の出来るまでを知る事ができました。企画会議、原稿依頼、原稿回収、割り付けなどを毎月行なうのです。

記事によっては、部員が取材をし原稿を書きますが、知らない事はかりでした。

以前は単独で公民館報が印刷されていましたが、今は経費節減の為に広報の後に印刷されていて、目につきにくいのが残念です。

4年の間には、編集部だけでなく社会部、体育部のそれぞれの行事を体験する事が出来ました。

4年間部員の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございます。

松下 聡

公民館報

「まつかわ」

第 567 号

平成23年1月15日

発行所 松川町公民館 佳  
責任者 塩澤三  
編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)